

[2017年2月24日]

鉄建建設株式会社 経営戦略室 広報部

東京都千代田区三崎町2-5-3 〒101-8366

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-29379

## 2・23 鉄道工事安全の日に安全大会

～川崎事故を風化させないと東京鉄道支店で安全大会開催～

■鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：林 康雄）東京鉄道支店（支店長：大塚 一史）は、2月23日『2・23 鉄道工事安全の日 “川崎事故を風化させない” 鉄道工事安全大会』をホテルメトロポリタンエドモント（東京都千代田区）で開催しました。

■2014年2月23日に川崎駅構内で発生させた列車脱線事故や、2006年に3件連続で発生させた鉄道輸送障害の記憶を風化させず、鉄道工事安全文化の再構築をめざして、事故の翌年2015年2月23日より全国の支店で一斉に安全大会を開催しています。

■冒頭、東京鉄道支店長から「今大会のテーマは、「川崎事故を風化させない」～事故の本質を捉えた対策の再整理～としている。この3年間の活動を振り返り、事故対策のマンネリ化感を払拭し、事故を決して忘れず風化させず、安全に対する更なるレベルアップを行うことを誓う」と挨拶がありました。続いて社長から、「昨年は再発防止対策を盛り込んだ「安全マネジメント」の運用と改善や、「川崎駅構内列車脱線事故の展示室」の開設、現場と経営幹部とのコミュニケーションの拡大などの施策を通して、運転保安に係る安全レベルの向上に取り組んできた。鉄建は今まで以上に『全社一丸、安全優先』理念のもと、輸送の安全の確保に全力をつくす事を肝に銘じ、『鉄道安全に強い鉄建』を再構築していく」と鉄建社員及び協力会社に呼びかけました。



挨拶する大塚 一史 東京鉄道支店長



挨拶する林 康雄 社長

■主催である東京鉄道支店からは支店長を含めた支店幹部と作業所長らが、本社からは社長をはじめ、安全推進室、鉄道統括室、土木本部および建築本部より幹部が出席し、協力会社からは鉄建災害防止協会東京鉄道支部会員、東京支部会員らが一同に会しました。（総勢291名）

■大会ではパネルディスカッションの中で「本質を捉えた対策案の提起」がなされ、「風化をさせないためにどうするか」というテーマで討議が行われました。最後に出席者全員で川崎駅列車脱線事故を受けて制定された「確認三唱」等が唱和され終会となりました。以上